

かほだより

R7-13号
R7. 11. 27

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL: 0265-72-2782,
Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
所在地: 伊那市西町5764
伊那諏訪家畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

寒さに負けない！子牛を守る冬の衛生管理

❄️ 寒さ対策をしっかりと！

- ✓ カーフジャケットやネックウォーマーで保温
- ✓ 乾いた敷料をたくさん敷き、こまめに交換

❄️ 子牛には十分な栄養を！

- ✓ 初乳は乳用子牛で出生後4時間以内に2ℓ、4～6時間後に2ℓ→計4ℓ給与が基本
- ✓ 初産牛や繁殖和牛では必要に応じて初乳製剤(代用初乳)などで補給
- ✓ 冬季は哺乳量を15%程アップし、離乳を1週間程延長(例. 2ℓ×2回⇒2ℓ×3回)
- ✓ 代用乳を溶かす温度は若干高め！(夏場:約45℃⇒冬場:約50℃)
- ✓ 自然哺乳では、母牛の飼養管理(濃厚飼料の増給、飲水量)にも留意
- ✓ 人工乳は粉ミルクをふりかけたり、糖蜜を添加すると嗜好性アップ！
- ✓ 温湯の給与で飲水量アップ！(哺乳牛は哺乳後20分程度たってから)

子牛は寒さに弱い！
13℃以下でストレス
を感じます。



© 2020 Japan Dairy Council

❄️ 母牛へのワクチン接種で冬の子牛を守ろう！

- ✓ 冬は子牛の下痢や呼吸器病が増える季節、予防の鍵は「母牛へのワクチン接種」！
- ✓ 分娩前に**ロタウイルス・コロナウイルス・太陽菌(K99)対応の下痢症予防ワクチン**の接種で、初乳を通じて子牛に免疫を付与！
- ✓ **IBRやBVD、RSウイルスを含む呼吸器病予防ワクチン**も有効！

※計画的なワクチン接種で、健康な子牛と農場の収益を守りましょう。(⇒ご相談は伊那家保へ)

耳寄り情報

BVDウイルスの持続感染を防止する最新のワクチンについて

牛ウイルス性下痢(BVD)は、流産や免疫低下を引き起こし、持続感染牛(PI牛)が発生すると群全体に感染が広がり、重大な経済損失を招きます。今般発売された**最新のBVDワクチン(ボベラ)**は、**妊娠牛にも安全に接種でき、胎子への影響を心配せず予防が可能**。さらに、年1回の接種で長期免疫を確保し、PI牛の発生を防ぎます。(⇒ご相談は伊那家保へ)

牛のヨーネ病研修会のご案内

牛のヨーネ病の発生状況、対策及び課題を明らかにし、県内でのまん延防止を図ることを目的に研修会が開催されます。**Webでの参加ができますので、参加を希望される方は、12月4日(木)までに伊那家保までご連絡願います。**

- 日時: 令和7年12月11日(木)13:00～15:00
- 場所: 長野八ヶ岳農協3階会議室(オンライン参加可)
- 内容: 「牛のヨーネ病の県内の発生状況と体制について」(佐久家畜保健衛生所 川島大樹氏)
「北海道における牛のヨーネ病発生状況と対策 その課題」
(北海道十勝家畜保健衛生所 宮根和弘氏)

長野県では業務改善の一環として、試行的に**窓口・電話受付時間を変更**します！



受付時間 **9:00～16:30** (従来8:30～17:15)

試行期間 **令和7年11月25日(火)～令和8年3月31日(火)**



※異常家畜の通報など緊急の場合は、休日や受付時間外であっても対応しますので、必ずご連絡ください。

ご不明な点・ご相談は伊那家畜保健衛生所 ☎ 0265-72-2782までご連絡ください。